

週報

2016年20号(5月15日～5月21日)

2016年度宣教テーマ

「世のために」

ヨハネによる福音書3章16節～17節

< 巻頭言 >

『 鍵を開けて 』

ヨハネによる福音書20章19節～23節

イエス様が十字架に掛けられてから三日目、弟子たちは、家の戸に鍵をかけて、閉じこもっていました。復活されたイエス様は、そんな弟子たちに現れ、「父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす」と言われます。それは、「戸の鍵を開け外に出て行きなさい」というメッセージでもありました。

しかし、弟子たちにとって、それは、最も困難な課題でした。彼らがなぜ戸に鍵をかけていたのか。それは、恐かったからです。「次は、自分たちの番かもしれない」と思って、恐怖に震えていたのです。

イエス様は、そんな弟子たちを遣わすため、彼らに息を吹きかけながら「聖霊を受けなさい」と言われます。息を吹きかけるという動作は、人を創られた時に、神様が、土くれに息を吹き入れられた姿と重なります。それによって、土くれは、命を与えられ、生きる者となりました。同様に、イエス様は、聖霊を受けて、新しく創り変えられ、新しい命に生きていきなさいと言われているのです。

事実、彼らは、聖霊を受け、遣わされていく者となっていきました。聖霊がもたらした最も大きな変化は、閉じこもっていた弟子たちを「外」に解放したことです。確かに、「外」には危険がたくさんあります。閉じこもっていた方が安全かもしれません。でも、神様は、恐怖に支配され、閉じこもっているよりも、出会っていきなさい、「外」に出ていきなさいと言われるのです。なぜなら、そこに恐怖からの解放と、平和があるからです。

(村田悦牧師)



教会創立 1950年8月7日 (教会組織)

日本バプテスト連盟 大分キリスト教会

〒870-0045 大分市城崎町2丁目6番22号

Tel/097-532-4240 Fax/097-529-5240 牧師 村田 悦

http://blogs.yahoo.co.jp/oita_baptist_church

Mail:oitabap@violin.

ocn.ne.jp